



「仲」シリーズ(上)と八巻代表(下)

高根町 八巻酒造店

六代続く老舗の味を

純米酒「仲」をシリーズ化

「株式会社八巻酒造店」は、江戸幕府から明治政府に切り替わる新しい時代が目前に迫っていた1862年(文久二年)、創設者の八巻衛門が八ヶ岳の裾野、当時の黒沢村で酒造りを始めたのが始まり。四代目で父親の一彦さんと五代目の俊司さんの二人三脚で

長く経営が続いていたが、平成16年に父親が突然他界。全責任を俊司さんが受け継ぐことになった。さらに、杜氏が高齢になったことから、バトンタッチの期間を設けて平成22年頃から杜氏として酒造りをするようにも。八巻酒造の定番商品は「男山」や「お館様」、「巫女の舞(精米歩合35%)」のほか、12月から3月までの限定商品の「しぼりたて」を食卓に提供している。



北杜市商工会ニュース CHALLENGE

発行所 北杜市商工会 発行人 会長小野光一 〒408-0021 山梨県北杜市長坂町長坂上条 2575-19 TEL 0551-32-1211 FAX 0551-32-1215 第10号

- 第10号特集
・頑張る老舗企業
・若手事業者がこれからの語る

社のかほり

武川米(農林48号)を広めようと「よんばちぶりん」や「よんばちだんご」を販売している武川町の「秋月」では、地元の高校生とコラボした新商品「コムキョンフィンナンシエ」と「よんばち米粉ロール」の販売をスタートした。この商品は、毎年、テーマを決めて高校生と商品開発する「食杜北杜」の一環で商品化したもので、今回のテーマは「米・米粉」だった。小麦粉の代わりに米粉を使う発想は簡単だが、バターや焼き加減、食感など、細かな点で調整が必要にな

新食感の「フィナンシエ」と「ロールケーキ」



り、生産者泣かせのチャレンジになった。フィナンシエのデザインは高校生からのリクエストで「かわいいのをつくりたい」の要望に応え、ハート型に。また、よんばちロールは「白」をテーマにしたことで、火加減を調整して試作を繰り返し、さらにバタークリームには48米を練り込んで米の食感が楽しめるようにしたという。米粉を使った「新食感」の商品に柏木則仁代表は、自信を持って販売している。問い合わせは ☎26・2759まで。

小淵沢 宮沢書店

必要とされる本屋に

にぎわいのある商店街へ

1904年の小淵沢駅前開業に合わせ、地域内外の商工業者が軒を連ねて始まった小淵沢駅前商店街。その一角に店を構える老舗「宮沢書店」は、栄枯盛衰のなかを地域とともに歩み続け、今年で創業100周年を迎える。開発前は13世帯しかなかったという小淵沢駅周辺は、駅前商店街とともに発展し、1917年に新しい行政区の本町を形成。24年に、物流企業の甲府支所長を務めていた宮沢正司さんが学校の教科書や一般書籍を扱う同書店を開業した。

「父親は車の運転ができなかったの で、外への販売に力を入れた」と、商社時代のネットワークを生かして事務用品や日用品などさまざまな商材を大量に仕入れ、役場や企業に赴いて低価格で販売。2年間で売り上げは3倍になったという。現在、宮沢書店では、書籍や文具に加え、コピー機やプリンターといった



宮沢書店の店内(上) 思いを語る宮沢俊彦さん(下)



事務機を取り扱うほか、図書館との連携や通販サービスの販売代理店事業を展開。市内外の小・中学校や高校の約10校を対象に教科書の販売も行っている。また、父親の活動を引き継いで甲府税務署管内納税貯蓄組合連合会の副会

「全国各地で町の本屋が次々と閉店するなか、多くのつながりと地域の支えがあつてここまでできた。必要とされるうちはできるだけ続けていきたい」と話す宮沢さんは、かつての小淵沢駅前商店街のにぎわいに思いを馳せ、「いつでも人が歩く姿が見える場所にした」と、これからの魅力ある商店街づくりにも熱い思いを寄せている。問い合わせは ☎36・2063まで。

What's 商工会?
商工会は、企業や経営者の皆様が明日の経営を考えるとき、そのバックアップをする組織です。専門のスタッフやその道のエキスパートを揃え、経営に関するあらゆる相談に応じ、きめ細かく支援します。
入会希望・お問い合わせは...
TEL.0551-32-1211

商売への思いこもごも

商工会青年部が考える継続する事業

北杜市
商工会



藤森 修平
峡北印刷株式会社
印刷でお困りのことがあればお気軽にお寄り下さい！



山下 耕司
ホテル若神楼
若神楼を通じて、地域をにぎやかにすることを目指しています。



徳光 康平
株式会社カルチペイトメタボリズム
食と農の循環を実感する山間の牧場で農産物生産、販売、体験を提供しております。



岩下 博樹
有限会社岩下商事
プロパンガス全般、販売、工事、配送、自社にてやっております。

2024年は甲辰(きのえたつ)年です。60年前(1964年)の甲辰年は、東京オリンピックの開催や東海道新幹線の開業など大きな出来事が続きました。今年の甲辰はどんな年になるのでしょうか。北杜市商工会青年部の部員が集まっていただき北杜市の未来を語っていただきました。



足立 浩伸
レストラン岳
経営、メニュー開発、プロデュース等、飲食専門コンサルタント



阿久津 安孝
DORO FARM
八ヶ岳と甲斐駒ヶ岳に囲まれた土地で根菜類を栽培しています。

▼経営者として目標に置いていることは何ですか？

▼藤森さん

従業員の際は自社の利益を追求したのですが、代表になったことで、地域のためという気持ちが強くなりまりました。

▼足立さん

神奈川で起業していましたが、北杜市で起業したことで、会社経営の意味合いが少し変わってきた。地域密着の経営を進めています。

▼阿久津さん

農業、プラスチックの経営で、アルファアの部分を大事にしています。

▼山下さん

地元の人に自慢されるようになりたいと思います。

▼徳光さん

次世代に対する責任と変わって行くライフスタイルに追いついて創り上げていきたい。

▼岩下さん

(ガス業界は)今、脱炭素というテーマで動いている。脱炭素といっても身近な消費者に届きやすい提案ができた

らと思っています。

▼栗原さん

アスリートの使命として、苦勞苦惱に率先して立ち向かっている人に勇気や感動を与えることは、僕にしかできないと自覚し、自負して活動している。

▼今話した目標を達成するためにどんなことをしていますか？

▼栗原さん

アスリートはひとりで行う競技ではなく、みんなで一緒にやっているよう、景色をシェアできるようにSNSの運用や活用を率先して行っている。

▼岩下さん

プロパンガスということ、知っているようで知らないことが多々あります。お客様一人ひとりに寄り添う形で、自分の言葉で語り、耳を傾けることに気をつけています。

▼徳光さん

農業というのは生産だけじゃなくて、体験という部分や収穫祭だったり、ひとりで

ご飯を食べるのではなく仲間と食べる。その逆で個人でコツコツと働くという体験や経験させたい。そういう場所をつくりたいと思う。

▼山下さん

地元の人に自慢される場所にしたいという思いがあつて、それをするために、事業計画を作成できるようにすることが大事かなと思います。

▼阿久津さん

古風な農業を追求して、生の声が聞けるような経営をしていきたい。

▼足立さん

普段交わることがないものを交わらすことを念頭に置いている。例えば阿久津さんの野菜を東京の店で扱ってもらいたい。交わることのないことを交わらせて、この土地の素晴らしさを伝えることを重要にして経営している。

▼藤森さん

(商工会青年部のような団体に)所属することにより、同世代や先輩たちとも知り合えるので、人とのつながりを大切にしている。

▼事業主として働き方の環境づくりとして取り組んでいることは？

▼岩下さん

働いている方(従業員)にとつても急に何かがあるかわからない。士気を高めるために休みを取りやすくして、自由に休んでもらうようにしている。会社に気を使わずに自分の用事を優先してもらおうという休みの取り方を推進している。

▼足立さん

税理士の方よりも労務士の方を最初に導入して法律をきちんと理解し、個人に対しての働きやすさを理解している。

▼阿久津さん

飲食店をやってみようと思っている。自分のつくったもの(農作物)にストーリー性を持たせようと思っている。

▼徳光さん

新しい農法にチャレンジしようと思っている。コイの養殖を始めようと思う。

SNSをやっている、運用代行の商品化ができるんじゃないかな、可能性として地域に根ざしてできないかなど頭の中にある。

▼栗原さん

特殊な仕事なのでチャレンジは難しい。プロパンガスをもっと身近にという気持ちは変わらなありません。

▼岩下さん

今の自分のサービスを求めている顧客がいれば、そこにサービスを提示し続けて軌道修正して行く。

▼徳永さん

飲食店として大人だけを相手にするのはなく、子供たちと今のうちにつながりたいたい。たとえば、保育園の卒業のパーティーとか謝恩会の会場に使ってもらったり、先生たちの遠足のお弁当を提供したり、子供たちにイメージが残るようなお店づくりが大切だと思っている。

▼徳光さん

私も育成会へのプログラム

を進めている。

▼藤森さん

地域みんなに愛してもらおう店づくりを進めている。

▼山下さん

100年続く企業は、事業承継をちゃんとしている。

▼北杜市商工会青年部に入って良かったこと

「仲間ができた!」

▼青年部の事業でやってみたいこと

北杜市のメンバーで、市や県を超えた知らない地域でのお祭りに出店できたらと思います。

▼阿久津さん

「北杜ん汁」は、提供するまでのスピードが早くていいなと思った。

▼栗原さん

商工会青年部は、いろんな人がいて、提案が融合して強みになっている。

▼徳光さん

ファシリテーションやビジネススキームみたいなのがあるので、商工会青年部でシエ

アしてもいいのかなと思う。

▼足立さん

北杜市商工会青年部は30人くらいいるのに、ここにいるメンバーしか知らない。他のメンバーも誰がどんなことをやっているのか知らない。だから北杜市商工会メンバーズ図鑑のようなものがほしいです。

▼自己PRタイム

ガス協会では、訪問販売が大きな悩みのひとつです。プロパンガスの訪問販売には気を付けていただきたい「おいしい話には必ず裏があります」ということを知っていただきたい。安いがすべてじゃない。ガスに関する機器など、声を掛けていただければ相談に乗ります。

▼足立さん

ひとつテーマにしていることは、「お母さんを楽にする」ことです。真空器やマイナス60度のスーパーフリーザーを置いて、冷凍食品をテイクアウトして夕飯のご飯で暖めるだけですが2つ3つつくられるようなことを進めている。特大のフカヒレシウマイや地元のシカ肉を使ったシチュー、さつ摩揚げなど常時7種類くらいある。

▼藤森さん

印刷会社なのでちょっとしたことでも相談してもらえればありがたい。気軽にお越

次ページへ



とうとう湧き続ける温泉(上) 金泉閣の全景(下)



今から四百五十年前の戦国時代、武田信玄公は川中島の合戦で戦った傷病兵や甲州金山採掘の鉱夫達のけがや病気の湯治場として増富の温泉を利用したといわれ、これが「信玄公の隠し湯」の由縁である。

そのなかのひとつ金泉閣は、大正五年三月に小澤秀孝が温泉旅館「金泉湯」として営業を始めたのが始まりで、百年以上の歴史が続く。昭和24年4月には温泉旅館金泉閣を開業し、翌年小澤秀雄が事業を引き継ぎ、28年2月有限会社金泉閣とする。

昭和41年小澤梅野氏が急逝し、妻の小澤梅野が代表取締役就任。56年6月小澤一孝が代表取締役就任し、平成20年小澤一孝氏が亡くなり、五代目として小澤孝太が代表取締役に就任した。

また、「通風の湯」ともいわれ、リウマチに良く効くお湯だよということ、尿酸値を下げる効果があったり、最近では免疫力を高める温泉といわれ、病院通いで免疫力の下がったお客様、特にがんのお客様の利用が増えている」と小澤代表は話す。

長期滞在での利用者が多いことから、「食事のことを一番考えて、豪華なお食事というよりも、塩分を控えたり、こういう料理はダメだよというお客様に合わせた料理を極力対応できるように食事には気を使っている」といいます。

長坂町の長坂商店街の一角にある御菓子司「久月堂」は、1925年(大正14年)12月に創業し、来年で100周年を迎える和菓子店。現在、3代目の植松仁さん(52)が店主として老舗ののれんを守っている。

久月堂は、大阪府の和菓子店で修行した創業者の植松久雄さんが古里の長坂町で開店し、84年に2代目の秋男さん(85)へと受け継がれた。仁さんは大学卒業後に都内の和菓子店で和菓子づくりの経験を積み、97年にUターンして、親子二人三脚で経営していた。

「実家に戻ってきた時は駆け出しだったが、少しずつ菓子づくりの自信が付き、地域の和菓子店としてお客様などからの要望を聞いて、挑戦していくことも大切だと考えていました」と仁さん。関西出身の顧客の要望に応じて、関西圏で食べられているという「道明寺の桜餅」を商品に加えたり、2018年からは県立北杜高等学校の生徒と地元事業者が協力して「北杜市のおいしいもの」を発信する「食杜北杜」に参加。市内産の野菜や大豆を使った和菓子を共同開発している。

21年に秋男さんが体調を崩したこともあり、仁さんが3代目として事業を継承したが、「コロナ禍の真っ只中で、イベントの中止や冠婚葬祭の規模縮小により赤飯や餅などの注文が激減してダメージが大きかった」といい、「外出があまりできない中でも、来店してくれる常連さんや新規のお客様がいたので、店頭販売に注力した」という。

店内のショーケースには看板商品のきんつばや最中、かりんとう饅頭(まんじゅう)をはじめ、草餅や豆大福などを常時20〜24種類が並ぶほか、



植松仁代表と妻の幸江さん(上)と久月の代表的な和菓子(下)



町長坂久月堂

創業当初の味を守る

北杜高校と新和菓子を企画

増富温泉峡「金泉閣」

信玄公の隠し湯

湯治場として長期滞在に対応

してください。小学生の職場体験に使ってもらっている地元の印刷屋さんです。

と聞くと農法だったり、土だったいろいろな考えがあった、ボクはどちらかというと鮮度を大事にしているの、無農薬とか関係なく、いいものをできるだけ早くお客様に届けています。

地元の人が認められて自慢されるような宿を目指しています。うわさが広まるよう地域の人が泊まってもらえるような宿を目指しています。日帰り温泉、宴会、宿泊のほか、ランチも予約制で対応しています。



栗原 正明 アスリート

困難に立ち向かい、それを乗り越える姿で、勇気を与える仕事です。

農産物生産方法もオーソドックスなものからハイテクを使ったり、ローテクを使ったりして模索している段階。リーススクールとの提携だったり地元への引きこもりだったり、不登校児を対象にしたプログラムをしたい。そういう

人たちが伸び伸びとできる環境を武川でつくりたい。

アスリートなので、自分のまわりで頑張っている小学生や中学生を応援する楽しさだったり、そこから得られる活力を感じてもらえることで、自分から楽しくなったり、元

家米を提供している」と話す。コロナが五類になったことから、要望の多い日帰り入浴にも対応するため午前10時から11時30分の入浴を可能にしている。

獣害による畑や田んぼの被害が大きいことから、狩猟免許を取得し、計画的な保護管理を行いながら山の恵みを利用。この山の恵みをジビエ料理としてメニューに加えることもあるとか。

高齢化が進み、限界集落ともいわれている増富温泉峡は、「何度も足を運んでくれるお客様がいる限り頑張るしかない」、「商売を続けるのに

人口の減少がちょっと怖いところ。生計が立てられるような活動を一緒にやりたい」と若者の移住に力を入れたいと話している。問い合わせは☎45・0511まで。

気をもたらたりすることがスポーツならできると思うので、そのスポーツを支えるプレーヤーがアスリートだと思。自分の知っているアスリートを応援するところからはじめてもらえば、後々は北杜市のアスリート(スポーツ)が盛り上がりつつ行くと思う。

毎日搾る生乳が命

自社製品の強みを活かす

高根町の「清里ミルクプラント」は、昨年1月、白州町の老舗和菓子店の金精軒製菓株式会社の傘下に入った。新しく代表取締役に就任した清水太さん(42)は、地域の酪農家から届く搾りたての生乳を使った商品の魅力を広く発信するため、北杜市商工会の支援を受け、持続化補助金を活用してホームページとECサイトの刷新を行った。

ミルクプラントは、県内で唯一の生乳を低温殺菌処理する施設で、同社が販売する「きよさと低温殺菌牛乳」は甘みがあり、濃厚なのにさつぱりとした味が魅力になっている。また、飲むヨーグルトやさ

けるチーズをはじめモッツァレラチーズ、発酵バターなども定番商品で、道の駅など県内約40カ所で販売しているほか、ミルクプラントの直営店で販売する、「ソフトクリーム」は、清里産の牛乳を100%使用しており「圧倒的にミルク感が楽しめます」と人気商品のひとつになっている。

新しく事業を任された清水代表は、約20年間続く「清里ミルクプラント」の強みは何だろうと「きよさと低温殺菌牛乳」を自宅に持って帰る日々が続いた。

きよさと牛乳は市販のものとは味は違うと感じるが、もっと決定的な何かがある。清水代表は、1年寝かした

いと思っていた時、家でシチューを作ることに。「きよさと低温殺菌牛乳」をたまたま入れて完成したシチューは専門店のような味に変わり「こんなにも味が違うのか」と驚いた。

改めてミルクプラントが素晴らしい商品販売していることを感じ、このことをもっと伝えなければと、持続化補助金を活用してホームページを刷新することにした。低温殺菌牛乳がどんなところでつくられているのか、生乳についての製造工程を紹介したり、通販サイトも見やすくして注文方法も見直したという。



ミルクプラントで販売している牛乳やチーズ類

「美大に進むか迷ったほど絵を描いたりデザインを考えたこともあり、チームユニフォームのロゴやデザインなどのプリントサービスができるようになった。緊急事態の影響を受け

新型コロナウイルスの影響で、宿泊を伴う遠征が禁止されたことで、合宿利用者が激減。2020年の売上は19年の2割まで落ち込み「宿泊客の客足が止まる中、改めて自分の生き方などをじっくりと考える時間が増えました」と話す小淵沢町のステンドハウスDENのオーナー田畑雅宏さん(60)は、これまで30年以上培ってきた「サッカー」と「スポーツ」をベースに仲間からも喜ばれる新たな事業ができたらしいだろうと思

うようになった。美大に進むか迷ったほど絵を描いたりデザインを考えたこともあり、チームユニフォームのロゴやデザインなどのプリントサービスができるようになった。緊急事態の影響を受け

新型コロナウイルスの影響で、宿泊を伴う遠征が禁止されたことで、合宿利用者が激減。2020年の売上は19年の2割まで落ち込み「宿泊客の客足が止まる中、改めて自分の生き方などをじっくりと考える時間が増えました」と話す小淵沢町のステンドハウスDENのオーナー田畑雅宏さん(60)は、これまで30年以上培ってきた「サッカー」と「スポーツ」をベースに仲間からも喜ばれる新たな事業ができたらしいだろうと思

コロナ禍に新規事業検討 サッカーでつながるネットワーク



サッカーチームのためにユニフォームなどを印刷する田畑さん

「サッカー」と「スポーツ」をベースに仲間からも喜ばれる新たな事業ができたらしいだろうと思

商工会にご相談ください。

【経営なんでも相談室】

経営・取引などでお困りの時

取引等に関する法律問題や事業承継、販路開拓、売掛金の回収等の法的トラブルなど法律・経営に関することや知的財産に関することなどの専門家の無料アドバイスを定期的に行っています。

【金融相談・斡旋】

事業資金でお困りのときは…

経営を安定、向上させることができるよう、金融や信用保証に関する相談・斡旋などを行っています。また、随時、日本政策金融公庫の相談会を行っています。

【経営指導・支援】

経営のこと、誰かに相談したい

新規創業、販路の開拓、新商品や新サービスの開発、新たな技術の導入、事業の承継など経営に関する悩みごとなど専門的なアドバイスや情報提供等による積極的な支援をしています。

【労災・雇用保険】

従業員が安心して働ける職場環境はできていますか？

福利厚生を整えて安定した企業環境をつくるための労災や雇用保険などの面倒な事務処理を事業主に代わり事務の委託を受けています。是非、お気軽にご活用ください。

【税務・経理指導】

税や経理ってすごくめんどう…

経営する上で欠かせないのが経理処理。日々の帳簿の付け方から決算、申告のしかたまで丁寧にアドバイスいたします。また、決算、申告期には税理士が専門の相談員として無料の税務相談に応じています。